

## 新中学校部活動について

### 1 これまでの下田市部活動方針及び決定事項について

- ① 学校再編前の新たな部活動の合同チーム設置は行わない。
- ② 学校再編後に新たな部活動の拡充を行う。既存部活動が不足となった場合の合同チーム設置は行う。
- ③ 令和4年4月学校開校時には、全ての生徒が新たな部活動を選択できる。  
 ※3年間、続けたいと思えるような指導を顧問の先生が行っていくことが重要。  
 ※改めて選択し直せることで救われる生徒の多様性を確保。  
 ※中体連賀茂地区大会は複数チーム出場可能(協会主催大会は1チームのみ)だが、生徒の部活動入部希望を調査後(令和3年4月調査予定)にどのように対応するか検討。
- ④ 令和4年4月から部活動全員加入制を基本とする。但し、例外を認める。  
 ※全員加入制を基本とするが、例外の可否判断等はその都度、学校長が判断。  
 例①クラブチームに所属する等の理由により、部活動に所属しない(クラブチーム・習い事等)。  
 例②クラブチームに所属する等の理由により、部活動の試合には出場しないが、クラブチームの練習がない日には、部活動に参加して体力づくりに参加することなども認める(部活動に所属する)。など
- ⑤ 令和4年4月から部活動の朝練習は実施しない。  
 ※学区が広域となるため、部活動の朝練習は実施しない。
- ⑥ 開設する部活動決定時期を令和2年12月とする。  
 ※新規部活動を設置するにあたり、令和3年1月頃には中体連への報告を行う必要があるため(支部大会から県大会への出場枠等の協議など)。

### 2 部活動選定スケジュール

時期	内容	備考
R元.9	部活動検討に係るアンケート実施(第1回) 対象:全児童(保護者含む)・中学校教職員	部活動開設の検討、統合時3年生の扱いについての基礎資料とするため。
R2.1	統合時3年生の部活動の扱い及び開設する部活動の公表時期について情報公開	4中学校ごと新入生説明会等にて説明
R2.10	部活動加入希望調査(第2回) 対象:全児童(保護者含む)及び中1・中学校教職員	部活動開設を検討・決定するための資料とし、運用方法をより具体的に検討するため。
R2.12	開設する部活動決定	統合準備委員会として、決定。
R3.4	部活動入部希望調査(第3回) 対象:開校時の該当生徒(小6・中1・中2)	部活動及び運用方法等を最終確定するための資料とするため。
R3.7	部活動及び運用方法等最終確定	統合準備委員会として、最終確定。
R3.7	統合準備委員会の結果を教育委員会へ答申	
R3.7	答申内容について教育委員会にて審議	承認を得て、正式に決定。
R4.4	新中学校開校 部活動開設・運用開始	

### 3 今後の新中学校部活動検討について

子ども及び保護者に対し常に情報公開をしながら検討していくとともに、アンケート等の結果で開設する部活動を決定するのではなく、新中学校施設、指導者確保、運営等を含めた上で、統合準備委員会で検討し、開設する部活動を選定します。

#### 4 現時点における開設予定の部活動について

これまでの統合準備委員会での協議や第1回部活動検討に係るアンケート結果などを参考に、統合準備委員会の下部組織である統合推進部会(部会内組織：統合企画研究会)や生徒指導部会において検討を行い、(1)開設する部活動、(2)現在検討中の部活動、(3)開設を断念した部活動として、次のとおり、3つに区分しました。

##### (1) 開設する部活動(既存4中学校で設置している部活動)

番号	部活動名	番号	部活動名
1	男子バレーボール部	2	女子バレーボール部
3	男子バスケットボール部	4	女子バスケットボール部
5	男子ソフトテニス部	6	女子ソフトテニス部
7	男子卓球部	8	女子卓球部
9	吹奏楽部	10	美術部

##### (2) 現在検討中の部活動(この中から3~5部活程度開設予定)

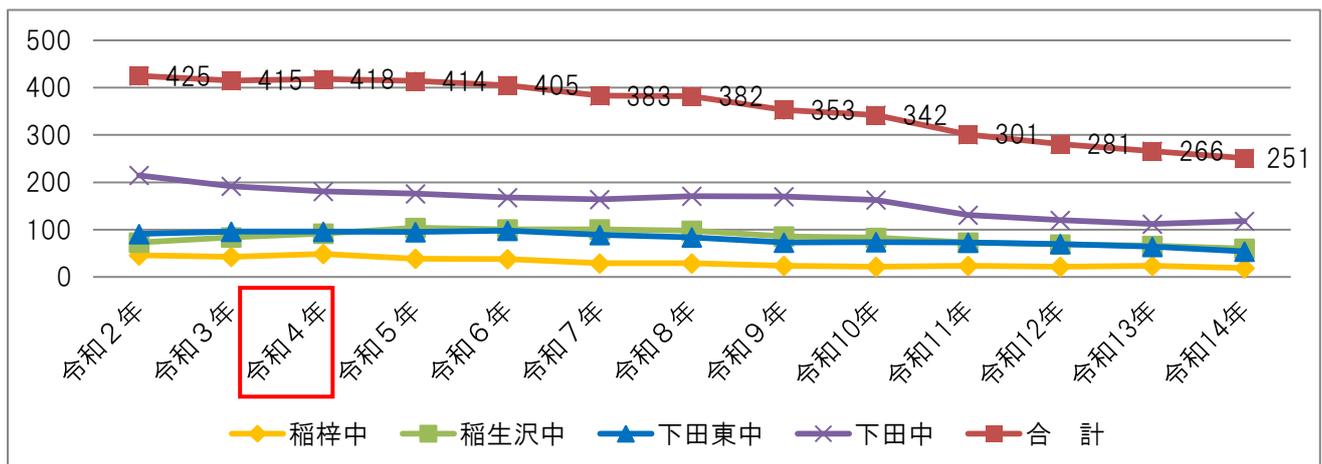
番号	部活動名	メリット(○)・デメリット(▲)・検討(*)など
1	サッカー部	○アンケート結果での希望者が多い。 ○社会での認知度が高いスポーツなので、開設の場合のインパクトが大きい。 ▲賀茂地区に開設校がないため、大会や練習試合など他地区への移動が問題。 ▲指導者確保の問題。 ▲クラブチームとの関連。 *練習場所の確保(近隣施設が利用できれば可能)。
2	野球部(軟式)	○アンケート結果での希望者が多い。 ○社会での認知度が高いスポーツなので、開設の場合のインパクトが大きい。 ▲賀茂地区に開設校がないため、大会や練習試合など他地区への移動が問題。 ▲指導者確保の問題。 ▲野球用具等の整備費用 ▲クラブチームとの関連。 *練習場所の確保(近隣施設が利用できれば可能)
3	陸上部	○アンケート結果での希望者が多い。 ○個人の希望に応じた種目に取り組み、球技を得意としない生徒の受け皿となる。 ▲生徒志向として、比較的個人種目に興味が深く、多くの生徒が陸上部に流れる可能性。 ▲指導者確保の問題(種目ごとに専門性が異なり、複数の指導者が必要)。 *練習場所の確保(近隣施設が利用できれば可能)。
4	水泳部	○水泳に興味があり、球技を得意としない生徒の受け皿となる。 ▲指導者確保の問題。 *練習場所の確保(近隣施設が利用できれば可能)。
5	剣道部	○興味がある生徒の受け皿となる。 ○新武道館の活用。 ▲指導者確保の問題。 ▲大会や練習試合など、移動が問題。
6	サーフィン部	○全国的にも珍しくインパクトのある部活動となり、新中学校のシンボリック的なものになる可能性。 ○自然環境が整っており、指導者についても協力してもらえる可能性が高い。 ▲安全性の問題。 *大会や練習方法など、運営面の工夫が必要。
7	総合文化部	○総合的な文化部として設置(PC、ジオ、ボランティア等想定。詳細は今後決定)。 ○地域人材の活用が可能。 ○地域の未来について考えるインパクトのある部活。

※(1)・(2)の部活動については、今後の生徒数減少に伴う部員数の状況により、数年後に廃部する可能性があるため、それらのことを了承したうえで設置する。

### (3) 開設を断念した部活動

番号	部活動名	理由
1	柔道部	指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・賀茂地区に開設校がなく、大会や練習試合など他地区への移動が問題。競技としての危険性も高い。クラブチームに所属して活動することを学校として許可することは可能。
2	ダンス部	練習場所、大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・習い事でダンスを行っている生徒も多く、それぞれのダンス教室の色が濃いと思われる、部活動としてまとめにくい。
3	バドミントン部	練習場所、大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・設置予定の屋内競技部活動数を考慮すると、設置することが難しい。
4	eスポーツ部	指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・ゲームを利用し、画面を見て操作、思考、戦略を考えるなど様々な力を身に付けることができるが、学校の教育活動の一環である部活動として設置するのは困難。
5	新体操部	指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・指導者の専門性が特に必要であり、確保が難しい。希望者数との関連で他の部活を優先した場合、練習場所が確保できない。
6	硬式テニス部	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・ソフトテニスが存在する中で、活動場所を考慮すると設置は困難。
7	軽音楽部	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・既存部活である吹奏楽部で活動することが望ましい。
8	弓道部	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・クラブチームに所属して活動することを学校として許可することは可能。
9	家庭科部	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。
10	空手部	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・クラブチームに所属して活動することを学校として許可することは可能。
11	野球部(硬式)	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。 ・クラブチームに所属して活動することを学校として許可することは可能。
12	将棋部	大会、指導者確保など、運用面を考慮し設置しない。
13	合唱部	指導者の確保など、運用面を考慮し設置しない。
14	演劇部	指導者の確保など、運用面を考慮し設置しない。

### 5 令和2年度以降の生徒数推移(4中学校区別)



学校名	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
稲 梓	46	43	49	39	38	29	29	24	22	24	22	24	19
稲生沢	73	84	92	104	101	101	98	86	83	73	69	66	60
下田東	91	96	96	95	98	89	84	73	74	73	70	64	54
下 田	215	192	181	176	168	164	171	170	163	131	120	112	118
合 計	425	415	418	414	405	383	382	353	342	301	281	266	251

※R2:R2.5.1 現在学校基本調査数値・R3～R14:R2.4.1 現在住民基本台帳(行政区別・年齢別人口調べ)数値